

# 映画の彼方へ ヘルツォークの衝撃はいつも

ヘルツォークは天上的な芸術家である。現実の向こう側に行ってしまった。男女の恋愛だの、人生どう生きるべきかだのという地上的、世俗的な事柄にはほとんど関心がない。

人間を拒絶するドイツの深い森や険峻な山岳、創造の神もまだ手をつけていないような原初的なアマゾンの奥地、あるいは火山、砂漠。ヘルツォークは、人間の住む世界からひとり離れて、まだ誰も見ていないような霊的な風景を見ようとする。孤高の詩人であり、どこか遠いところからやってきて一時的に地球に滞在している異人である。

奇行は数多い。俳優たちに催眠術をかける。真冬、氷の張った河のなかに入る。苛酷な撮影に音を上げ、役を降りたという俳優クラウス・キンスキーに拳銃を突きつけ「君を殺し、私も死ぬ」という。

詩と音楽と旅が好きなヘルツォークは、現代人というより、**現実と夢**の境がまだ判然としなかった中世の人間である。だから彼の世界には、小人、吸血鬼、超能力者、迷子、フリークといった非日常者があふれかえる。

ヘルツォークは、**突然変異的な映画監督**である。映画史の流れのなかでひとり、はみだしてしまっている。「映画」などという口当たりのいい秩序の向こうにいる。映画の流行に超然としている。だからいつ見てもヘルツォークの映画には新しい驚きがある。……

川本三郎 (評論家)



特集

蜃気楼 生の証明 ガラスの心 小人の饗宴

シュトロツェクの不思議な旅 闇と沈黙の国 問いかける焦土 カスパー・ハウザーの謎

ヴォイツェック コブラ・ヴェルデー 緑の蛇 キンスキー、我が最愛の敵

アギーレ 神の怒り ファツカラド



「私の映画をある流れに組み込むことは難しい。その意味で、私は一人だし、今後も一人で映画を作ってゆくとと思う。」(W.ヘルツォーク)

ニュー・ジャーマン・シネマの旗手のひとり、ヴェルナー・ヘルツォークは1967年のデビュー以来、独自の美学でドキュメンタリーとフィクションの双方にわたって作品を発表している。彼を駆り立てるのは、人間のあらゆる極限状態である。特殊な状況や場面の設定は、彼自身を幾度となく危険な場所へと向かわせた。最新作『キンスキー、我が最愛の敵』などヘルツォーク作品4本連続ロードショーを機に、彼のデビュー作をはじめ8作品を特別上映いたします。

**ヴェルナー・ヘルツォーク Werner Herzog**  
1942年、ミュンヘンに生まれ、少年時代をバイエルンの農園で過ごす。大学で歴史、文学、演劇学を専攻。留学したピッツバークでは追放処分を受けたリ、メキシコで密輸をしたりと若い頃から、彼にはエピソードが多い。64年にカール・マイヤー賞を受賞した自筆脚本「狼煙」をもとに、長編第一作として発表した「生の証明」で、ドイツ連邦映画賞を受賞し一躍注目を浴びる。「カスパー・ハウザーの謎」でカンヌ映画祭の審査員特別賞を受賞。世界的に知られる性格派俳優 クラウス・キンスキー一起用した「アギーレ・神の怒り」で、興行的ヒットも成し遂げ、名実ともにニュー・ジャーマン・シネマを強力に牽引する監督として、内外に知られるようになった。以後、ジャンルや手法を越えて、意欲的に新作を発表。90年代にはオペラの演出も手掛け、映画からは距離をおいていたが、クラウス・キンスキーとの長年に渡る交流をテーマにした「キンスキー、我が最愛の敵」を発表し、世界中の観客を改めて魅了した。現在、30年代のベルリンを舞台にしてティム・ロスを起用した新作「Invincible」を、ミュンヘンで製作中である。

**特集上映 (2/24(土)~3/2(金) モーニング 3/3(土)~3/9(金) レイト)**



上映日◎2/24(土) am10:50 & 3/5(月) pm8:45  
**生の証明** ヘルツォーク長編デビュー作  
Lebenszeichen 1967年/90分  
ギリシャの小島で、自分の生が埋もれていくのを阻止しようと抵抗する孤独な男の物語。



上映日◎3/1(木) am10:50 & 3/8(木) pm8:45  
**シュトロツェクの不思議な旅**  
Stroszek 1976年/107分  
刑務所を出所して〈自由の国〉アメリカに渡る芸人シュトロツェクに降りかかる悲劇。



上映日◎3/3(土) pm8:45  
**蜃気楼**  
Fata Morgana 1971年/78分  
サハラ砂漠、東西アフリカの風景を幻想的イメージとして構成したヘルツォーク版創世紀。



上映日◎2/28(水) am10:50 & 3/7(水) pm8:45  
**ガラスの心**  
Herz aus Glas 1976年/94分  
主人公はバイエルンの超能力者ガラスが生成されていく中での変容と人の心との関係性を映し出す。



上映日◎2/26(月) am10:50 & 3/4(日) pm8:45  
**闇と沈黙の国**  
Land des Schweigens und der Dunkelheit 1971年/85分  
ろうあ者であるフィニーの感じる生活空間への概念は、いわゆる一般的な概念を超える。



上映日◎3/2(金) am10:50 & 3/9(金) pm8:45  
**ヴォイツェック**  
Woyzeck 1979年/82分  
軍人ヴォイツェックの、女性に受け入れてもらえない鬱屈した愛情の行く先は…。



上映日◎2/27(火) am10:50 & 3/6(火) pm8:45  
**カスパー・ハウザーの謎**  
Jeder für sich und Gott gegen alle 1974年/109分  
幽閉され続け、突然、人間社会に放り出された実在の人物カスパー・ハウザーの謎の物語。



上映日◎2/25(日) am10:50  
**コブラ・ヴェルデ—緑の蛇**  
Cobra Verde 1988年/111分  
奴隷商人コブラ・ヴェルデの欲望は限りなく深く、一方、取り巻きの策略も果てしない。

ヘルツォーク特集上映 ●主催/GOETHE INSTITUT 関西ドイツ文化センター、ヘルツォーク特集上映実行委員会 ●後援/大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 ●協賛/ Lufthansa

**ロードショー上映 (3/3(土)~3/29(木) ロードショー)**



**キンスキー、我が最愛の敵**  
Mein Liebster Feind 1999年/95分  
最狂コンビを誇った国際的怪優クラウス・キンスキーとヘルツォーク。目も眩むようなお話。



**アギーレ・神の怒り**  
Aguirre, der Zorn Gottes 1972年/100分  
鬱蒼としたアマゾンの奥地に黄金郷を目指すスペインの探検隊。しかし深い森の前に、探検隊は内部瓦解してゆく…。キンスキーの狂演は伝説となった。



**小人の饗宴**  
Auch Zwerge haben klein angefangen 1970年/96分  
〈ニワトリが恐ろしいことを示したのは私が初めてだ〉—映画に登場するニワトリへのヘルツォークのコメント。



**フィツカラルド**  
Fitzcarraldo 1982年/151分  
前人未到のアマゾンの奥地にオペラハウスを建てようとする男の執念。船の山越えシーンは世界の観客に衝撃を与えた。

**2/24(土)よりヴェルナー・ヘルツォーク連続上映!**

料金●特集上映 当日券のみ:600円均一●ロードショー上映 前売1400円(当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円)

	2/24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	3/1(土)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
モーニング	生の証明	コブラ・ヴェルデ	闇と沈黙の国	カスパー・ハウザー	ガラスの心	シュトロツェクの謎	ヴォイツェック																													
ロードショー	特集上映連日AM10:50(1回上映)																																			
レイト																																				

地下鉄中央線 →本町  
**九条駅**  
←大阪港  
シネ・ヌーヴォ  
ブル  
マルド  
ナルド  
マクド  
うどん  
6番出口  
パチンコ  
パチンコ  
商店街  
アーケード  
大阪ドーム

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分  
**シネ・ヌーヴォ**  
TEL.06-6582-1416  
シネ・ヌーヴォのホームページ アドレス  
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/